

■ 令和2年度 第11回 秋葉区自治協議会

日時：令和3年2月26日（金）午後1時30分

会場：秋葉区文化会館 ホール

1 開会

（金子会長）

皆様こんにちは。とうとうオンライン開催になってしまいましたけれども、慣れない環境で、皆さん戸惑っておられるのではないかと思います。なるべくいつもどおり、適度にリラックスしていただき、いつもどおりの調子で会議に臨んでいただきたいと思っています。

仕組みがいつもどおりではなくて、マイクをつないだり、スピーカーから音が出てきたものをマイクで拾って、ようやく。ここだけハウってみたりとか。とにかく、私もずっとオンラインで会議や授業をやっていますけれども、何が起こるか分かりません。だいたい変なことが起こるものなのです。こういうことをやろうとすると。まだ、社会が慣れていないところもありまして、万全ではない状態だとは思っています。

先ほど、事務局からお願いがありましたように、発言される方はこちらまで出てきて、マイクの前でご発言いただくという方式です。テクノロジーを駆使して、便利なのか不便なのかよく分からない状況になっています。

現状をいうと、明らかに不便ですね。不便なのですが、やはり時代の流れや、新型コロナウイルス感染症という単純なことではなしに、デジタル化というものを国を挙げて進めていく時代になっていますので、そういったものをいろいろチャレンジして、試行錯誤しながら、失敗しながら、なんとか形にしていこうというところは、我々もついて行かなければならない部分となりつつあります。

ですので、何かうまくいかないというストレスを感じたりすることもあるかもしれませんが、ぜひ協力しあっていただければと。寛大な目で眺めていただき、自分もその中で一緒に挑戦をする一人だという心構えで記憶に残る会議にできればと思っていますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

それでは、本日取材ですが、新潟日報とFM新津から協力依頼をいただいております。写真撮影など許可してよろしいか諮りたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声）

異議ないようなので許可することにいたします。

では、次第1番から入ってまいります。

2 議事

(1) 令和3年度当初予算事業について

(金子会長)

次第(1)「令和3年度当初予算事業について」、ということで、こちらは、いきなり遠隔説明ということになるので、うまくいくかどきどきですけれども、古俣課長に進めていただいでよろしいでしょうか。

(地域総務課長)

古俣です。皆さん、本日はよろしくお願ひします。

お手元に資料1-1ということで、当初予算事業説明書が配られていると思います。また、資料1-2として、本庁の課の配当予算ということで、資料がお手元にあるかと思いますが、そちらについて、これから私から説明したいと思います。

まず、資料1-1をご用意ください。表紙をはぐっていただき、当初予算の総括表になります。歳入は、3億2,928万5,000円で、対前年度比で1,968万6,000円、5.6パーセントの減となっております。主な理由は、防災設備整備事業債という地方債の借り入れが、令和3年度はなくなったというものが主な理由です。その下、歳出ですが、27億2,311万4,000円で、対前年比5,790万2,000円、2.1パーセントの減となっております。減った主な理由は、総務費の人件費と、防災行政無線の整備事業費の減です。令和2年度に金津地区で三つの防災行政無線の整備を進めておりますが、そちらの予算が、令和3年度はなくなりますので、この減が主な理由となっております。

続きまして、資料2ページを開いてください。ここから先は、各事業の説明書となっておりますが、2ページから6ページまでが、秋葉区の特色ある区づくり事業になります。令和3年度は、自治協議会提案事業も含めまして、全体で15事業となっております。そのうち、リニューアルの新規事業が1事業、それから拡充が二つ。そのほかにつきましては、継続事業となっております。その中から、リニューアルの新規事業、それから拡充事業、また、自治協議会提案事業について簡単に説明させていただきます。

資料は3ページ、中ほどをご覧ください。新規事業秋葉「鉄道物語」では、新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源(宝)を、商店街、地域住民、子どもたちとともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図ってまいります。

続いてその下、拡充事業「文化遺産情報発信事業」では、秋葉区の歴史や文化遺産に

対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信してまいります。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用してまいります。

5ページをご覧ください。「アキハもち麦推進事業」です。機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指しまして、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行ってまいります。

以上が、新規リニューアル事業、拡充、それぞれの事業を説明いたしました。

続きまして、6ページをご覧ください。自治協提案事業とあります。6事業を予定しておりますが、そのうち主なものとして、上から二つ目「秋葉区区民幸福度調査」につきましては、中学生以上の秋葉区在住者を対象として調査を実施し、より一層幸せを感じられるまちづくりのための課題を明確化してまいります。

下から3つ目「アキハおとな大学」では、秋葉区のさまざまな魅力を区民に再認識し、学んでもらう講座を開催し、秋葉区への愛着形成と、主体的に活動する人材の育成に取り組んでまいります。

その一つ下の、「ひな・お宝めぐり」では、秋葉区の新春行事として定着しつつある、この事業について区民協働によりつるし雛飾りの制作や展示を行って、人の流れを生み出し活性化につなげてまいりたいと思っております。

以上、簡単ですが、令和3年度の秋葉区当初予算事業のうち、主要なものについてご説明いたしました。

続きまして、本庁課配当予算における事業につきましてですが、内容は本庁の道路計画課の道路整備関係事業、それから、歴史文化課の新津鉄道資料館の関係の事業となっております。

2ページは公共下水道の整備といたしまして、下水道管、マンホールポンプの更新や、蓋の取り替え、あるいは、中ほどには、背割排水路整備、環境工事なども予定されているところがございます。

また、4ページをご覧くださいと、教育委員会の関係の事業でございますけれども、表の下をご覧ください。まず、2月補正におきまして、結小学校の大規模改造工事、それから同じく結小学校の実施設計などが、今後令和3年度への繰越事業として予定されております。

また、トイレ改修の実施設計が小須戸小学校で予定されております。

秋葉区関連の事業につきましては、説明は以上となります。よろしく申し上げます。

(金子会長)

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら挙手のうえ、マイクまで出てきてご発言をお願いしたいと思います。何かございますでしょうか。

(渡邊委員)

委員の渡邊です。お疲れさまです。

秋葉区配当予算、資料1-1なのですが、3ページの秋葉「鉄道物語」新規、についてどこが主体となって、どういう内容が展開されるのかが、初めてということもあって分からないので、教えていただけたらと思うのですが。

(金子会長)

資料1-1、産業振興課の秋葉「鉄道物語」、新規事業なのですがけれども、こちらの事業の主体や実施体制がどうなっているのかというご質問です。

(産業振興課長)

産業振興課長の堀内です。よろしくお願ひいたします。

こちらの事業は、新規と記載されておりますけれども、正確には令和2年度、今年度行っている二つの事業を統合した形になっております。ですので、新たに起こすということではなくて、これまでどおり、商店街の皆様やJR新津駅の皆様、鉄道資料館の皆様、ボランティアガイドの皆様と一緒に進めていく事業で、今年度と変わりなくやっていくということでございます。以上でございます。

(金子会長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

では、ほかにご意見、ご質問。お願いします。

(伊藤(直)委員)

公募の伊藤と申します。

健康センターの改修の件ですがけれども、この予算というのはどこに入っているのか、どこを見ればいいのでしょうか。それとも当初予算とは関係ないのでしょうか。ご説明をお願いします。

(金子会長)

健康センターの改修に関する予算は、どちらに計上されているのでしょうかという質問、ご回答をお願いします。

(地域総務課長)

健康センターのはつらつホール関係の改修のことだと思うのですがけれども、昨年12月議会で予算化されておりますので、今回の資料には掲載されておられません。

(伊藤(直)委員)

では、今年度の補正予算ということですか。分かりました、ありがとうございました。

(小林委員)

中央コミ協の小林と申します。3ページ、令和3年度当初予算事業説明書の3ページですが、地域総務課の文化遺産情報発信事業というのは、具体的にどんなことを想定して100万円の予算をつけているのでしょうか。

(地域総務課長)

文化遺産情報発信事業につきましては、今すでにある文化財マップという資料があるのですが、そのマップを新たに作り直すことを目指して、新年度はワークショップを開催して、ワークショップに市民の方からご参加いただきながら、新しい文化財マップの作成を目指していく取組みを実施することを予定しております。

(小林委員)

分かりました、ありがとうございました。

(金子会長)

ほか、いかがでしょうか。特にございませんでしょうか。

では、特にそのほかはないようですので、以上で次第1「令和3年度当初予算事業について」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(2) 第3回秋葉区自治協議会委員推薦会議の開催について

(金子会長)

続きまして、次第(2)「第3回秋葉区自治協議会委員推薦会議の開催について」、委員推薦委員会の小林座長からご説明をお願いしたいと思います。お願いします。

(小林委員)

推薦会議座長の小林でございます。資料2をご覧ください。

2月17日に会議を開催いたしまして、次期委員の選考を行いました。まず、資料の訂正を一つ、お願いいたします。資料2の18番、伊藤治好委員ですが、秋葉区体育協会と書いてありますが、秋葉区スポーツ協会の間違いでございます。失礼しました。訂正してください。

それでは、1番から11番までは、各地域のコミュニティ協議会から選出していただきまして、12番から22番までは、区内の公的機関団体から選出していただきました。全部で19名。この方々を推薦いたします。また、氏名が空欄の団体につきましては、現在選考中ということですので、3月の本会議に推薦させていただきたいと思っていま

す。23 番から 25 番までは、有識者として、金子洋二さん、渡邊彩さん、花水真由美さんの 3 名を推薦いたします。その下の 26 番から 29 番までは公募委員でございます。10 名応募された中から次の方々を、作文と活動歴などを厳正したうえで選考いたしました。

まず、伊藤直さん、須田渚さん、須藤阜月さん、土田貴好さん、この 4 名を推薦したいと思います。また、30 番は区長が必要と認めた者として、まちの茶の間だんだん嶋岡の大貫弘美さんを推薦いたします。27 名のうち新任の委員が 11 名、再任の委員が 16 名となります。

以上、私ども委員推薦会議では、資料に記載の 27 名の方を、第 8 期秋葉区自治協議会の委員として推薦いたしますので、ご審議くださいますよう、よろしく願いいたします。

(金子会長)

ありがとうございました。こちら、本日審議するということですか。

(小林委員)

ここに決まった人だけ、了承いただければと思います。

(金子会長)

かしこまりました。

では、まずご意見、ご質問等ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(佐藤委員)

訂正をお願いします。11 番、小須戸、小学校区を削ってください。

(金子会長)

そうですね。小須戸コミュニティ協議会ということですね。ほかにいかがでしょうか。特にございませんか。

ただいま、小林座長からご説明いただきましたこのメンバーで、自治協議会本会議から推薦するという事で諮りたいと思いますが、よろしいでしょうか。ご異議ございませんので、ではそのように、結論とさせていただきます。ありがとうございました。

では、以上で次第 2 番、第 3 回秋葉区自治協議会委員推薦会議の開催について、ご報告と審議、終わらせていただきたいと思います。

(3) 秋葉区民幸福度調査企画会議の開催について

(金子会長)

続きまして、次第 (3)「秋葉区民幸福度調査企画会議の開催について」、私からご説

明させていただきます。

資料3をご覧ください。区民幸福度調査の企画会議、全3回を予定しておりましたけれども、2月12日、第3回目をもって、全て終了いたしました。その結果、調査項目の案が固まりましたので、本日皆様にご説明させていただきたいと思っております。

1枚めくっていただきまして、そこから調査項目がずっと続いています。最初は、回答者本人につきまして、性別や年齢、職業、通学・通勤先、居住地区、1枚めくると、出生地や秋葉区内での居住年数、世帯構成という基本的な情報を伺う質問になっています。そこから、住みよいと思うかどうかという、全般的な質問をまずさせていただいて、住みよいと思った理由を三つ選んでいただくという構成になっています。今後も住み続けたいと思うか、秋葉区に愛着があるか、といった大きめの質問から入っています。第5問が、魅力や誇りについて、三つを自由記述でお伺いする質問。第6問目が、何か気になることや、解決したいと思うものを自由記述で三つお書きいただきます。

4ページ目なのですがけれども、ここからいよいよ幸福に関する個別の質問に入っておりまして、まず、それぞれの幸せの基準と伺いますか、幸せを感じる際に重要な項目ということで、表の15項目の中から三つを選んでいただきます。この15の項目というのは、企画会議の中で、一番最初に幸せとはどういうものだろうか、秋葉区で暮らすことの幸福とはどういうものなのだろうかということを、メンバーがいろいろ意見を出しあったものを集約して、この15の項目になっています。これ以外のものがあるかもしれないということで、16番目にその他というものが入っておりまして、それぞれに現状、ほぼ足りている・満足、不足している・やや不足、わからない、大まかに満足度を伺っています。

その次、5ページ目からは、それぞれの幸せの構成要素に関するやや詳しい、と伺いますか、ざっくりと満足度だけ聞いても、何が満足で何が不満なのかということが分からないので、少し詳細について質問しています。8問目の健康に関する質問。9問目は仕事または学業に関する質問。10問目が福祉に関する質問。11問目は地域の人や趣味の仲間、友人とのつながり、コミュニティに関する質問。12問目は社会貢献です。自分が地域の役に立っているという場がしっかりとあるかどうかという質問です。13問目が、子育て・教育に関する質問。14問目が、文化や生涯学習に関する質問。15問目が環境に関する質問。16問目が防災・防犯に関する質問。17問目が生活の利便性に関する質問。18問目が選択の自由・受容性に関する質問。自分らしく生きられていると感じるかどうか、あるいは、いろいろな方々がこのまちにはいらっしやるわけですがけれども、どんな方にとっても住みやすいまちであるかどうかということを知りたいと思っております。

問として、幸せをどのくらい感じているかという総括的な、これまでさまざま細かい部分も含めた質問に答えていただいたうえで、最終的に幸せであるか、あるいは幸せでないかを選択肢で選んでいただく質問で締めくくっております。

企画会議としてはこのような形で、3回の議論をとおして、専門家の経験や知識をお貸しいただきながらまとめてきたところですが、調査につきましては、年度が明けてから、おそらくゴールデンウィーク明けくらいに。新年度のさまざまな忙しい時期が過ぎた頃に実施するという事です。無作為抽出で、できれば5,000 くらいのサンプルが集められるように。各年代、各地区、その辺の偏りがないように配慮をした形で実施したいと思っています。こちらの質問の結果は、春から新しい期が始まりまして、その委員たちが自治協の事業を考えたり、あるいは秋葉区の特徴ある区づくり予算の内容について反映させていくという、そういったものの材料にしていく。あるいは、また、何か顕著な課題がみてとられましたら、積極的にそういったものを事業化するというような材料として活用していきたいと思っていますところでは。

以上で、秋葉区民幸福度調査に関する説明を終わらせていただきますが、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(渡邊委員)

渡邊です。2ページ目のQ2の住みよいについては答えた理由が詳しく聞かれているのですが、住みよいと思わないというほうも、案外大事なのではないかなと。困りごとが出てくる部分かなと思うので、こちらについても理由を聞かれるとよいと思うのと、3番はいらぬのではないかなと思うのです。いいか悪いか、はっきりしてもらったほうが、人数がすくいやすいかなと思いました。

自分でも、今、つけてみたのですけれど、けっこう質問が続くと負荷が大きい気がしまして。忙しいのに、これ何でやるのというところになってしまうので、何かティッシュでもいいので、書いた人にはプレゼントとか、あるいはこの意見が政策に反映される材料になりますとか、やる気になるようなものがあるとうれしいなと思いました。以上です。

(金子会長)

ありがとうございます。そうですね、住みよい理由は、わりと書いてもらいやすいのですけれども、住みよいと思わない理由ですか。おそらく、後半の質問で、その辺は大分具体的に見えてくるつくりにはなっているかなと思うのですけれども。なるべく質問の数を減らしたいということもあったりして、とりあえず肯定的な部分だけ理由を聞いておきたいという意図で、こういうふうに住みよい理由だけを聞く構成になっています。

(渡邊委員)

移住者のママさんとかは、ほかの地域から移住してきた方で、住みよいと思わないを詳しく、本当は聞いてほしいという方もいらっしゃると思うので。かっこ一つでもいいと思うのです。空欄のかっこ一つをつけておいていただくだけでも、理由を聞きやすいと思うのです。

(金子会長)

ただ、自由記述で、その辺は書くところがあるのですけれども。

(渡邊委員)

自分で書いていて、Q2のところに違和感があったのです。住みよいですと書ける人はいいのですけれど、住みよいと思わないとつけた場合に、そのあとを、本当は聞いてほしいということがあると思って。

(金子会長)

Q6で、気になることや解決したいということを、三つまで書けるようにはなっているので、そこで捨てることもできるかなとも思うのですが。

(渡邊委員)

少し、そこそことは違うのです。

(金子会長)

違うは違いますけれども。住みよいと思わないことの理由の選択肢は、なかなか作りづらいかなと思っています。

(小林委員)

確かに、渡邊さんの言われることも一理あるかなと思います。確かに、会長が今、言われた、住みにくい理由というのは、書くのが大変です。だから、私は、住みよいと思わない人に対しては、そう思った理由、どんなところですかと、1行書くところだけ設ければいいのかなと。また、住みにくいところというのが、これから行政の中で解決していくべき大きな点にもなると思うので、あったほうがいいかなと思います。ほんの1行でいいと思うのですけれども、一言、あなたが一番直してもらいたいところを書いてもらえたら、それはけっこういい宝になるのではないかという気がするのですが。

(金子会長)

その辺は、Q5で自由記述ができるようになっているのですけれども。

(小林委員)

後ですね。Q6ですね。

(金子会長)

Q 5やQ 6です。何か、アンバランスであるのなら、いっそのこと住みよいだけ聞いてみるというのはいかがですか。終わりのほうの、その次のほうの質問とかぶるものもあったりして。ひょっとすると、何か、これはある意味聞きすぎなのかなという気がしないでもないのですけれども。

(渡邊委員)

逆にQ 6をなしにしてもいいので、住みよいか住みよくないかのあとに、それぞれが詳しく分記されるようにしたほうがいいのではないのでしょうか。Q 6は、逆にたくさん書く欄があって困ります。

(小林委員)

順番ですね。

(金子会長)

バランスを考えると、そうするとQ 5もQ 6もなくしてしまったほうがよいという感じになりますでしょうか、今のご意見だと。その次の幸福について重視していることに対する満足度も聞いていたり、そのあとのさらに細かい質問もあるので、いっそのこと、ここはそんなに考えるところまで踏み入らないで。だぶって集計されるような感じになりますよね、肯定的な要素と否定的な要素というものが。

むしろ、なくてもいいのかもしれないと、今、思っているのですが。

(小林委員)

住みよいと思わない人は、Q 6のところ具体的に書いてくださいと書いておけばいいのではないのでしょうか。

(金子会長)

この辺は、うしろの質問とかぶっている部分があります。尺度を二つ設けてしまっているようなものなので、いっそのこと聞かないという、むしろそちらのほうがいいのかなと思うのですけれども。

(渡邊委員)

今、小林委員がおっしゃったように、ガイドがないので、多分困ったのだと思います。今、おっしゃってくださったように、Q 2を答えた方はQ 6へお進みください、だと、こことここがつながっているので、私の意見をちゃんと聞いてもらえると読み取れるのですけれども、そうでないと、Q 2とQ 6がつながっているとは読み解けないので、ガイドをつけていただくと分かりやすいと思います。

(金子会長)

そうすると、今の話ですと、住みよいと答えた人がQ 5を答えて、住みよいと思わな

い人がQ6を答えるような、そういう構成になりますか。それとも、どちらに丸をつけようが両方答えてもらってというようなことですか。

(小林委員)

よいというのは、ここにある三つ選んでくださいというので、そこに続けて、さらにもっと何か書きたいことがあればQ5へと書いてもいいと思うけど。要するに、Q2の住みよいと思わない人は、Q5に具体的に書いてください、というような一言があれば、それで済むのではないかなと思うのです。

(金子会長)

その辺をもう少し表記として分かりやすく改めるということによろしいでしょうか。それと、さらに渡邊委員が、どちらとも言えないという3番目の選択肢はいらぬのではないかとおっしゃったのですけれども、私は、やはりこれはないと丸をつけるのに困る人が、かなり出てくるのではないかなと思うのですが。

確かに、どちらかといえば思うとか、どちらかといえば思わない、のようなものもあれば、そこに丸をつけるという考え方もあるのですが、住みよい、と住みよいと思わない、の2択にしたほうがいいということですか。

(渡邊委員)

はい。

(金子会長)

その辺に関するご意見、いかがでしょうか。

住みやすさは、白か黒ではないと思うので、そういう意味では、どっちともいえないな、という人は、相当数いるように。

(小林委員)

半分くらいではないですか。

(渡邊委員)

これが、目的がどこにあるかによってだと思えるのですけれども。今年度は住みよいと思っていた人が、何か事業をやっていたら増えました、減りましたというのが分かりやすくなるためには、白黒はっきり、意思表示をしていただいたほうがいいと思いますし。そうでないのであれば、グレーゾーンを作ったほうがいいと思います。

(金子会長)

中間域がどのくらいいるかというところも、一つの指標、参考値にはなると思うので、これも、今、渡邊委員がおっしゃったようなニュアンスでも設けてもいいように、私は思います。

ほかの皆さん、どうでしょうか。

(小林委員)

私も、やはり積極的に住みよいところだなと言える人と、今、ここ嫌だなというところがある人のほかに、どっちともいえないかなという人は、どのくらいいるかというのは、あってもいいような気がします。そのほうが、住みよいと住みよくないとの比較の中でできるので。削らなくてもいいような気がすると思います。

(金子会長)

ほかに何かご意見ございますか。

(島倉委員)

住みよい、住みよいと思わない、どちらとも言えないの3択。それはそれでいいと思います。2と3を選択した人は、Q6に思いを書いていたほうがいいのではないのでしょうか。

(金子会長)

では、先ほどの話で、その辺が接続するようにとのことですね。

いかがでしょうか。

(羽生委員)

社協の羽生です。今ほどのQ6の部分をQ2の住みよいと思わない人、あるいはそのどちらとも言えない人が、その理由をここに書け、のような話ですけれども、ここでは、住みよいと思っている人でも、今後こういうふうに変えていかなければいけないのかな、この辺は直したほうがいいよね、と思っている人もいるので、限定することはないと思いますが。

(金子会長)

そうですね、私もそのとおりだと思います。ほか、いかがでしょうか。

(蓮沼委員)

西部コミ協、蓮沼です。私も、羽生さんと同じような意見なのですが、Q2の住みよい、とそれから、思わないというのが、それでQ5、Q6につながるということなのですが、住みよいというのと住み続けたいというのは、また違うのではないのですか、と思うのですけど。

住みよいのですけれども、残念ながら住み続けることができないという人もたくさんいると思うので、これは、直接ではないと思うのです。Q5、Q6は、それぞれべつものだと思うので、Q2の住みよいと思うか思わないか、のところは、選ぶのではなくて、住みよいと思う理由を書くとか、思わないと思うならその理由を書くとか、そのように

したほうがいいのではないかと思います。以上です。

(金子会長)

限定的にせずですね。ということで、ほかにいかがでしょうか。

そうですね。今、どちらつかずになっているのが、住みよい、住みよいと思わない、と、どちらとも言えないという3択にするのか、それともいっそのこと2択にしたほうがはっきりして分かるのではないかという、その辺りなのですけれども。

どうでしょうか。皆さんの感覚的なもので傾向をお伺いしたいのですけれども、これはこの3択のままでいいのではないかとと思われる方はどのくらいいらっしゃいますか。大半が。ですので、申し訳ございませんが、ここは3択のままとさせていただきたいと思います。

それでは、ほかの部分も含めまして、ほかに何か、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

これは、まだ質問項目を並べてあるだけで、アンケートの様式には、まだなっていないので。作成するときは、分かりやすさが配慮されて作成されます。

このくらいの字で読みづらいでしょうか、どうでしょうか。せつくなので。もう少し大きいほうがいいですか。大丈夫ですか。これ以上は絶対小さくしないということで。あと、いかがでしょうか。

(保科委員)

ほかの質問でよろしいでしょうか。山の手コミ協の保科と申します。日頃の会議、ご苦労さまでした。

このアンケートを作成するにあたり、アキハスムプロジェクトの10年後の未来予想図の中で、五つの幸福（しあわせ）という項目があるのですが、その五つの幸福の項目に関しては、全然タッチしていない、関係なく、このアンケートを作成されたわけでしょうか。

(金子会長)

そうですね、そちらのほうはベースとしておらず、白紙の状態から、幸せって何だろうということをお話し合っ、その結果15の項目に収めたという形になっています。

(保科委員)

では、それとはリンクしなくて、新たに、幸せとは何かということを検討されて、ということでございますね。はい、分かりました、ありがとうございます。

(金子会長)

ほかにいかがでしょうか。須田さんも、もし何かあったらどうぞ。よろしいですか。

(須田委員)

公募の須田です。よろしくお願いします。

やはり、先ほど渡邊さんからもあったように、スムーズに回答ができるようにするといいと思いました。ちょっと聞こえなかったのかもしれないけど、何に使われるかという目的もしっかり書いておくと、皆さん、回答しやすいかなと思いました。ありがとうございます。

(金子会長)

ありがとうございます。では、その辺の前文も必ず入りますので、いただいたご意見を踏まえて、分かりやすいように記載していきたいと思います。

特に、それ以外ないようでしたら、頂いたご意見を反映させていただき、書式を見やすいように、分かりやすいように整えて、来年度の実施に備えていきたいと思いますので、皆さん、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

では、これで次第3番、秋葉区民幸福度調査企画会議の開催について、を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果について

(金子会長)

次にまいります。次第(4)「新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果について」ですが、こちら私からご説明させていただきます。資料4をご覧ください。

2月中旬時点まで、各コミ協においていただいたものや、WEBでも受付できるようになっていましたので、そちらを含めて置いておきましたら、これだけのご意見をいただきました。全部読み上げることはしなくてもいいかなと思うのですが、やはりそれぞれ気にかけていらっしゃることや困っていらっしゃる、悩んでいらっしゃるということはあるのだなというのが、これを見ていくと実感できるかなと思っております。ただ、一覧表にして羅列してあるだけですが、これをもう少し見やすいように、一つの自治協の調査の結果として、何かしらもう少し分かりやすいまとめた資料化したものを、今期の自治協からの一つの提言というのでしょうか、こういった活動の成果というものを、一つの書面にまとめたものを、しっかりと区長あてに提出したいと思っていますけれども、その基礎資料になるものです。基礎情報がすべてここに網羅されたものということになっています。

これもぜひ、改めて皆さんから内容なども細かく見ていただいて、自治協でできない

ことはないかとか、あるいは何か区づくり予算の中でできることはないかとか、そういったことに発想をめぐらしていただき、また新たな期を迎えて、新型コロナ、ウィズコロナ、ポストコロナというものが、本当にこれからもまだまだ、我々迎え撃っていかなければならない部分だと思いますので、一つの資料として活用していきたいと思っております。多様な悩み事が書かれています。これを1個1個議論しはじめたらきりがありません。多様な悩み事が書かれています。これを1個1個議論しはじめたらきりがありません。ものがあるのですけれども、ただ、確実に秋葉区の住民の皆さんからあがった声ですので、我々もこれを刻みながら、自治協の運営に生かしていきたいと思っています。今、見ていただいて気がついた点でも結構です。活かし方とかですね、そういうものにもしご意見等ございましたら受け止めますけれども、ご質問、ご意見等ございましたら、挙手でお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(渡邊委員)

情報提供の一つです。村上のほうだと、首都圏に行ったお子様向けにふるさと宅配便ということで、笹団子や地元のを首都圏のお子さんに送ってあげるということをされていたりします。こちらも拝見すると、首都圏に住む子どもと往來することができないというのが二つ、ご意見があがっているので、自治協としても何か送ってあげられるものや、地元ならではのものを送ってあげて応援できたらと思います。アイデアとして。

(金子会長)

今思いついたアイデアなどでもけっこうなのですが、もし何か感じたことがありましたらご発言いただきたいと思えます。いかがでしょうか。

(阿部委員)

荻川コミ協の阿部です。よろしくお願ひいたします。

情報が日々更新されていく中で、マスクに関する情報について。私、この前、この上に不織布マスクをもう1枚していたら、それは効果ないと聞いたよと言われたのですが、これは絶対新しい情報だからと言うのですけれども、それぞれテレビを見ている人もいるけれど、見ていない人もいることを考えると、やはり正しい情報を発信していくということできないかなと思って、提案です。

(金子会長)

そうですね。大いに検討の余地はあるご提案かと思えます。ほか、いかがでしょうか。

(小林委員)

このアンケート結果でなくてもいいですか、コロナの関係であれば。一言。

(金子会長)

そうですね、関連するご意見ということで。

(小林委員)

小林でございます。また延長されたようですが、弁当を 10 人以上で頼むというものです。大変いいアイデアだと思うのですが、ただ、3,000 円なものですから。ちょっと弁当にしては、あまりにも高すぎて、2,000 円くらいだと、結構使いやすいのかなと思うのですが、3,000 円のものにすると、税金入れて 3,300 円、その 1,500 円だけ補助ですから、1,800 円になるのです。そうすると、やはり弁当で 1,800 円も出すのはというので、けっこう尻込みする人がいるのです。宴会で 3,000 円の料理だったら、いいと思うのですが、弁当で 3,000 円というのは。これは、2,000 円くらいにしたほうが、使ってくれる人がたくさんいるような気がします

(金子会長)

そちらもご意見として、議事録への記載をさせていただきたいと思います。

ほかはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

今現在、意見箱は回収した状態になっているのですけれども、はっきり言って、これでコロナ禍が終わったわけではないですし、これからさらにコロナ禍から端を発したお困りの方というのは、引き続き出てくる心配はなくなったわけではありませんので。また期が改まってから継続的にこういう声を集めるかどうかということ、新しい委員の中で、新しい体制の中で話し合っ、なるべくなら声を集め続けていったことでやっていきたいと思っておりますけれども、そのようなことを次期に向けて申し送りはいしたいと思えます。

ほかによろしければ、以上で次第(4)「新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果について」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(5) その他

ア 部会活動報告

(金子会長)

では、次第(5)「その他」ということで、まず各部会からの活動報告をいただきたいと思えます。ですが、2部会と3部会は、この間、事業評価に関する話し合いが中心になったということで、新しい、ここでご報告いただける事項はないということですので、第1部会、広報部会から、今月にご報告をお願いしたいと思います。では、第1部会の小林会長、お願いします。

(小林委員)

第1部会の小林でございます。今、残っている事業が、新津中央コミ協のつるし雛と、小須戸の雛と町家めぐりでございますが、この二つ、今現在開催しております、どちらも非常に好評で、ぜひ見たことのない方は、ぜひ行ってみてください。行くと、良さが、本当に分かります。これを続けてもらいたいという気持ちを、ぜひ来年も、皆さん強く持っていただければと思います。

もう一つは、先日終わりましたNPO法人新津郷土に親しむ会の講演会でしたが、お陰様で会場が満杯になりました。当日はキャンセル待ちをされている方も20人ほどいられて、大変好評でございました。本当にありがとうございました。

(金子会長)

ありがとうございます。では、広報部会、田中部会長お願いします。

(田中委員)

広報部会の田中です。今、第1部会からもお話がありましたけれども、きらめきサポートプロジェクト、いろいろ活躍されているということですので、その辺のところも次回のかわら版26号に載っております。また、秋葉区でも、先に秋葉区役所たよりもいろいろ載ってございましたけれども、おひな様も大変きらびやかなことで、その辺も載っております。この3月21日に発行しますので、すでに前回もお話いたしましたが、ぜひお楽しみにお待ちください。

それから、この辺のところを、実は2月18日に広報部会を開きまして、校正をいたしました。原稿をいただいた皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。

それから、FMにいつでございますけれども、第2水曜日の12時20分から放送している、「あきはくはつものがたり」ですけれども、3月10日放送分につきましては、金子会長と阿部副会長の締めということでご出演をお願いしておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

なお、この金子会長と阿部副会長につきましても、かわら版にも載っておりますので、ぜひどうぞご覧ください。ありがとうございます。以上です。

(金子会長)

ありがとうございました。それでは、第1部会小林部会長と広報部会田中部会長からご報告をいただきましたが、これにつきましてご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

(小林委員)

きらめきサポートで、桂家の本を作りました。まだご覧になっていない方、今日、持ってきてありますので、

宣伝させていただきました。ありがとうございます。

(金子会長)

きらめきサポートの防災手帳は、私の地区は回覧板に挟まって配付されてきたのですが、皆さんのお手元にも届きましたでしょうか。早速切り取って折りたたんで、家内と私とで携帯しておりますけれども、ぜひご活用いただきたいと思います。

ほかに、何かご質問等はございますか。

(佐藤委員)

小須戸コミ協の佐藤です。先ほど、今日の資料の中で配付させていただきました。明日と来週で土曜日があと2回しかございません。ぜひ、ひな祭り、小須戸に足を運んでいただきたいと思います。来年のつるし雛の参考にさせていただきたいということで、ぜひ来ていただきたいと思います。

それに合わせて、交流センターのつるし飾りですか、あれもすごいです。私も2、3回見にいきましたけれども、やはり豪勢でありますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

それから、その下に小須戸コミ協まちづくりセンターだよりの中に写真展の案内が入っておりますが、6日7日の土日に行います。これは、アーカイブスという小須戸コミ協の中の一つの部がございまして。過去の写真を、どんどんなくなっていくものを、もしかするとごみになってしまうようなもの、現にごみになっているものがたくさんあるのですけれども、そのごみを、少しでも回収して、その中から厳選して、デジタル化して残していこうという活動をしているサークルでございまして、その方々が大変苦勞なさいまして、この今昔展をやっております。

なお、フェイスブックにもあがっていますので、ぜひそちらのほうでも確認していただいて、いらっしゃっていただきたいと思います。

なお、最後、ひな酒屋めぐりは明日と来週の土曜日2回だけです。300円で6種類の試飲ができます。私、1回回りましたら、やはり3軒回って、3軒の酒屋で2種類ずつ試飲ができますので、さすがに6杯飲むとほろ酔いの感じになりましたけれども、そういうこともやっておりますので、ぜひ来ていただきたいと思います。よろしくお願ひします。以上です。

(金子会長)

ありがとうございます。ほかに部会の活動関連で何かございますでしょうか。どうぞ、お願ひします。

(花水委員)

花水です。今月5日に新潟市犯罪のない安心・安全まちづくり推進協議会に、秋葉自治協として出席してきました。

今年度の報告として、新潟市の犯罪が大幅に減少したということで、これもコロナ禍なのかという意見が出ていました。ただ、特殊詐欺の被害件数が、被害額は減っているのですけれども、被害件数が増加したということでした。

小針小学校の児童の殺人事件があつてから、防犯カメラを新潟市が補助しているのです。令和元年、2年、次年度の3年度として、3年で補助しているそうです。私も知らなかったのですけれども、団体で申し込みをして、令和元年、2年度は、すべて設置済みということでした。

それぞれの区では、そういった犯罪を防止するという取り組みも進んでおりまして、秋葉区は小須戸地区が紹介されていました。以上、報告です。

(金子会長)

情報共有、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

(小林委員)

中央コミ協小林です。小須戸コミ協が小須戸アーカイブスをやっているんですけど、これに似たものをやるつもりだったのではないのですけれども、実は今年度の初めから、私中央コミ協で、コミ協だよりや、ほかのところでいろいろとこういうものを集めていますということを発信したのですけれども、全然集まらないのです。本当に。小須戸コミ協は、よくこれだけ集めたなと思うのですが、全く集まらないものですから、もし皆さんの周りに新津の昔の写真や、そういうものをお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えていただければと思っています。

写真はいただくのではなくて、お借りして、スキャンして、どなたが持っているということを明記したうえで、使いたい方がいられたら、どなたにでも使っていただくと。そのかわり、ちゃんと所有者の許可を得るなど、そういったことをしっかりしたうえで。一旦なくなると、本当に見つけれないので、耳を大きくして、情報をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(金子会長)

ありがとうございます。皆様も何かお持ちでしたら、小林委員にご連絡いただきたいと思います。よろしいですか。ほかにないようであれば、部会の活動報告はこれで終わりとさせていただきます。

イ 地域で弁当交流応援事業について

(金子会長)

次に、地域で弁当交流応援事業について、ということで、こちらは地域総務課伊藤課長補佐から説明をお願いします。

(地域総務課課長補佐)

皆さん、よろしくお願いします。

では、説明をさせていただきます。先ほど、アンケートの中で、小林委員からご指摘ありましたが、お弁当の金額についてはご意見として承らせていただきます。

現在、地域交流のお弁当・会食補助は、残念ながら12月16日、県の警報前に会食のほうをストップしまして、お弁当の補助のみを続けておりましたが、この事業は、2月28日、今月末をもちまして一旦終了となります。そのかわりに、3月1日から6月30日まで、お弁当代金の補助のみということで、新たな事業として再度スタートを切らせていただきます。内容につきましては、利用対象者がこれまでよりも拡充されてきて、自治会、町内会、サークルのほか、一般の企業等も含まれるようになりました。チラシをご覧くださいますと、対象とならないもの、4つあげさせていただいておりますが、基本的にはこれ以外は該当となりますので、もし自分たちが該当するかどうか、不安であれば、秋葉区地域総務課にご相談いただければと思います。

続きまして、利用の流れです。こちらについてもこれまでと同様の申請方法になります。利用の申し込みについては、原則として1週間前まで。お弁当についてはお持ち帰りということでお願いしたいと思います。申請は、各区役所の窓口、あるいは出張所、連絡所の窓口でもお受けいたします。このほか、かんたん申し込みという、新潟市のWEB申し込みもさせていただいておりますので、それぞれで合ったものをチョイスしていただければと思います。

補助についてはこれまで同様となっております。単価1個のお弁当、税抜きで3,000円以上、10個以上を購入した場合に対象となります。補助率については、1個あたり2分の1となりまして、上限2,000円となっております。

冒頭に申し上げましたが、利用期間は3月1日から6月30日。4月以降の利用については、申し訳ありません、現時点では確定しておりませんが、令和3年度の予算の議決を待つということになります。

それから、予算の上限に達した場合は、その時点で受付け終了となります。これまでご利用いただいた団体につきましては、回数無制限となっております。さらに活用していただけるよう、ぜひ、委員の皆様からお声がけいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。私の説明は以上です。

(金子会長)

ありがとうございました。ただいまの件、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。よろしいですか。それでは、ぜひ皆さんも積極的に。

(事務局)

もう1点、追加でご案内させていただいてもよろしいでしょうか。

この事業のお弁当を提供してくださるお店は、お弁当の写真も含めて、秋葉区のホームページ、産業振興課のホームページでご紹介させていただいていますので、ぜひ、委員の皆様からもご覧いただければと思います。併せて、商工会議所のほうでテイクアウトフェアも継続して行っております。いろいろなお弁当が用意されておりますので、そちらもぜひご検討いただければと思います。

(金子会長)

ありがとうございます。いかがでしょうか、質問ございますか。よろしいですか。

それでは、ただいまの件、これで終了とさせていただきます。そのほか、その他以外、ほかの委員、情報共有等ございましたらどうぞ挙手でご発言ください。

特にないようであれば、以上をもちましてすべての議事を終了したいと思います。本当に、どうなることかと思われましたが、皆様がたのご協力で、歴史に残る自治協本会議をすることができました。

今後、またオンラインも参加可という形でやるので、もう少しバージョンアップされて、スムーズに、その都度よくなるという予定でございます。引き続きよろしくお願ひします。

では、進行を事務局にお返しします。ありがとうございました。

3 閉会

(阿部副会長)

いつもと違う環境の中で、別の意味で緊張しましたがけれども、無事に終了しました。ありがとうございました。

昨年の中頃は、まだ様子が分からなくて、行動を自粛しておりました。3月になったら、春になったら、夏になったら、と積み重ねてここまでできてしまいましたけれども。次回は第7期最後の本会議となりますので、また来月お元気でお会いしたいと思います。

今日は終わります。お疲れさまでした。